一日バス研修旅行・根来寺と桃源郷めぐり



年に一度の楽しみにしている旅行です。今年は桜と桃が一緒にみることが出来るという和歌山の根来寺と桃源郷。時は3月31日9時三宮を出発、参加者28名を乗せたバスは湾岸線を通りぬけ根来街道へと向う。空は快晴、気候は良し、けれど花は無い。桜の名所日本100選に選ばれている根来寺もこの日は1本のみが私たちを迎えてくれる。広い境内、荘厳な建物、満開時の光景を想像しながら根来寺を後に、海鮮の昼食を済ませ桃源郷へ。1週間早い旅行となりました。

(バス研修担当:坂本)

22 年度締めくくりの①②①②

まずは皆で決めた日程、昨年度最終日に合わせて坂本さんが多忙の中組んで下さった「紀州根来寺の桜と桃畑ツアー」が実現した。

バスの始発が思いがけない三宮のド真ん中、国道2号線沿い、しかも通勤ラッシュの最中だから「ムム」となった人もいて出発。車中、塔筋さんによる「モロゾフ・ゴンチャロフ顔負けチョコ」が配られて、湾岸線を時計回りにぐるりと東へ南へ……①埋立地 ②橋を ①②①②……と繰り返し、りんくうタウンを過ぎて車窓の両側が山の連なりになった時から阪和道、県境を越えて左折、根来寺のある岩出市に、という行程だった。

私め、実は3年前から佛教大学に籍を置き佛教を勉強している。十代の終わりにはっきりと自覚を持ってキリスト者になった。もう四十数年日曜日の礼拝をパスしたのは数えるほどだ。葬式仏教と揶揄され、習俗と化し、必ずしも生き方の指針とはなっていないかに見える仏教、本当のところはどうなの、と。

で、ほとんど機会のないお寺への観光は、拝礼の対象ではないが、ある意味皆さんにもまして興味津 津なのである。根来寺がどうであったかは皆さんの方がよく心に留められているであろう。仏像のあり がたさや様式云々はわからない私だが、枯山水をはじめ、陽光降り注ぐお庭を満喫して辿った。写生す る人たちの作品を覗き込むのも一興だった。足の赴くまま見て回り、この度初めてお誘いし、ご一緒で

きたお友達若田さんと共に集合写真には入り損ねた。岩出民 俗資料館で、鉄砲の伝来は種子島の次がここだったと初めて 知った。

桃源郷は私たち遠来の来園をはにかんでか思いの他蕾が 固く惜しかった。(因みにパラダイス、楽園の原語は果樹園 である。)が、重い柑橘類を安さに惹かれて買い込んだ。

帰路の①②①②は綾小路きみまろの爆笑ビデオにお腹の 皮をよじるうち大阪湾を反時計回りにぐるりとひとまたぎ だった。(東中)

